

事業番号	事務事業名	放課後児童クラブ事業費	所管課名	保健福祉課	令和 2 年度課長名	水島 剛
01830	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	子育て支援係	担当者・シート作成者
	施策名	16	子育て支援の充実	根拠法令等	児童福祉法・鏡野町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例等	

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	保護者が就労等により昼間家庭にいない小学1年生から6年生の児童を対象に、放課後に適切な遊びや生活の場を与え、児童の健全な育成を図る。	保護者が就労等により昼間家庭にいない小学1年生から6年生の児童を対象に、放課後に適切な遊びや生活の場を与え、児童の健全な育成を図る。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 町内の小学生	ア 町内の小学校児童数	人	見込 実績	640 640	656 659	656 659	661	661
イ 放課後児童クラブ	イ 放課後児童クラブ数	ヶ所	見込 実績	7 7	7 7	7 7	7	7
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 放課後を安全・安心に過ごす	ア 利用者総数/年度中	人	目標 実績 達成率	1,780 1,781 100.1%	2,000 2,191 109.6%	2,200 2,649 120.4%	2,900	3,000 88.3%
イ	イ 延べ施設定員/年度	人	目標 実績 達成率	2,280 2,310 101.3%	3,120 3,120 100.0%	3,120 3,420 109.6%	3,420	3,420 100.0%
ウ	ウ 利用者総数/施設定員	%	目標 実績 達成率	80.0 77.1 96.4%	80.0 70.2 87.8%	85.0 77.5 91.1%	85.0	87.0 89.0%

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 利用申請受付・審査等	ア 受付件数	件	目標 実績 達成率	190 191 100.5%	240 226 94.2%	260 255 98.1%	280	300 85.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 03		項 02		目 01		大事業 中事業					事業番号						
	一般会計		民生費		児童福祉費		児童福祉総務費		05 01											
	放課後児童クラブ事業費													01830						
予算(千円)	30 年度実績	1 年度実績	2 年度実績	3 年度見込	4 年度見込	前年比	決算(千円)	30 年度実績	1 年度実績	2 年度実績	3 年度見込	4 年度見込	前年比							
国庫支出金	8,770	10,621	12,969	13,426	13,426	2,348	国庫支出金	7,827	10,984	11,638	13,426	13,426	654							
県支出金	8,770	10,621	12,969	13,426	13,426	2,348	県支出金	7,793	10,160	11,590	13,426	13,426	1,430							
町債	20,000	24,800	28,000	25,000	25,000	3,200	町債	20,000	24,800	28,000	25,000	25,000	3,200							
その他特財	23,255	25,070	31,126	33,104	33,104	6,056	その他特財	18,236	22,441	26,276	33,104	33,104	3,835							
一般財源	4,792	5,767	18,964	12,930	12,930	13,197	一般財源	7,273	2,862	17,968	12,930	12,930	15,106							
合計	65,587	76,879	104,028	97,886	97,886	27,149	合計(A)	61,129	71,247	95,472	97,886	97,886	24,225							
財源名称	子ども・子育て支援交付金						従事正職員人数	2	2	3	3	3	1							
	岡山県子ども・子育て支援交付金						延べ業務事務時間	900	900	900	900	900								
	放課後児童クラブ保育料・保険料保護者負担金						人件費計(千円)(B)	3,044	3,150	3,009	3,015	3,015	-141							
	最終予算額		104,028 千円		予算執行率		91.7%		トータルコスト(A+B)		64,173	74,397	98,481	100,901	100,901	24,084				
主な支出事業内容(予算)	会計年度任用職員報酬・共済費					83,291 千円					会計年度任用職員報酬・共済費					75,788 千円				
	需用費					11,226 千円					需用費					10,578 千円				
	役務費					2,202 千円					役務費					2,047 千円				
	工事請負費					2,634 千円					工事請負費					2,634 千円				
	備品購入費					368 千円					備品購入費					365 千円				
主な支出事業内容(決算)	会計年度任用職員報酬・共済費					75,788 千円					会計年度任用職員報酬・共済費					75,788 千円				
	需用費					10,578 千円					需用費					10,578 千円				
	役務費					2,047 千円					役務費					2,047 千円				
	工事請負費					2,634 千円					工事請負費					2,634 千円				
	備品購入費					365 千円					備品購入費					365 千円				

事業番号	01830	事務事業名	放課後児童クラブ事業費	所管課名	保健福祉課
------	-------	-------	-------------	------	-------

#### 4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
平成9年の児童福祉法改正により放課後児童クラブが法的に位置づけられ、当町では町民からの要望を受け、平成18年に南学区放課後児童クラブを開設、その後5クラブを開設したが、年々利用(希望)児童は増加し待機児童が発生。また平成24年の児童福祉法の改正により対象が「小学校に就学している児童」へ拡大されたこともあり、平成28年から徐々に受け入れ体制整備を行い、平成31年4月から、小学校6年生まで受け入れることとなった。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
平成18年の南学区に続き、20年に香々美学区、22年に大野学区、23年に奥津学区、24年に鶴喜学区、そして27年度に高学区児童クラブを開設。また26年には、南学区の定員を50名から60名に、奥津学区の定員を10名から15名に増員した。さらに28年度からは大野学区児童クラブ、29年度からは南学区児童クラブの施設整備に取り組んだ。また保護者の要望に応じて29年度から利用時間を30分延長、30年度には、大野学区児童クラブの新施設を開設、南学区児童クラブの施設整備、31年1月には香北学区児童クラブを開設、同年4月、南学区児童クラブの新施設を開設した。さらに、令和2年度からは大野学区児童クラブの旧施設を使用、支援の単位を2単位として児童の受け入れを行った。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
保育料は町が放課後児童健全育成事業の取組みを始めてから、一定の金額だが、減免を希望する声がある。また庁内から民間委託の検討について声が上がっている。

#### 5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	核家族化の進行、共働き家庭の増加等により、仕事と子育ての両立が困難になっているため、本事業は子育て支援に必要な事業であり、政策体系に結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	平成18年の南学区放課後児童クラブの開設以来、公営という形式で運営してきており、現在の7クラブを民間に委託することは難しい。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	大規模な施設整備が終了、平成31年4月から利用対象児童を小学校6年生までの児童に拡大した。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	一部地域で児童数が急激に増加し、利用児童数の地域格差が広がっている。今後は施設整備等により定員数を増やすのではなく、地域格差に対応できる体制整備が必要。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)		
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	廃止・休止等した場合は、仕事と子育ての両立が困難となり、放課後の児童の安全が確保できない。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)			
<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	指導員の資質向上を図ることで保育内容が充実し、ひいては児童の健全育成につながっていく。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	成果を上げるためには、今後も施設設備の改善等が必要であり、事業費の削減は難しい。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	事業の成果を向上させるためには指導員の確保が必須であり、事業費同様、今後も人件費は増大していくと考えられる。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	利用児童の保護者からは、利用料等を徴収しており、公平である。

#### 6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は大野学区放課後児童クラブの利用児童数が増加したため、旧施設を改装し、2単位で児童の受け入れを行った。</li> <li>・指導員の確保は難しく、年度途中に指導員を募集したり、一部の指導員がクラブを兼務したり等して対応した。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症対応のため、町独自の指導員研修は実施できなかったが、香北学区放課後児童クラブにおいて作業療法士によるコンサルティング(WEBコンサル)を実施した。</li> <li>・今年度から指導員は会計年度任用職員のパート職員となり、勤怠管理システムが導入されたことにより、指導員の事務負担が増大した。</li> </ul>																							
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 ・支援を必要とする児童が年々増加しているため、町の臨床心理士が定期的に巡回し、相談やアドバイスを行う体制を整備する。 ・新型コロナウイルス感染症への対応を行いながら、指導員の資質向上のための研修機会の充実を図る。 ・各児童クラブにカメラとスピーカーを設置しているが、一部クラブではWEB環境が整っていないクラブもあるため整備が必要。																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>△</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持			△		低下			×
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上			○																					
	維持			△																					
	低下			×																					